



平成
29年度

鳴門教育大学 教職大学院 学修成果発表会

今年度修了予定者(現職教員院生 30名, 学部卒院生 12名)が, 教職大学院での2年間の学びの成果を発表します。学校関係者の皆様, 教職大学院の学びに関心をお持ちの方々のご参加を心よりお待ちしております。

開催日時

平成30年
2月4日 日 8:30
▼
16:00

会場

鳴門教育大学 講義棟

〒772-8502
徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地
TEL 088-687-6000 (代表)

日程

8:00 受付
8:30 開会行事
9:00 個人発表 (午前の部)
12:30 昼食
13:45 個人発表 (午後の部)
15:50 閉会行事

※発表会当日は学内の食堂が閉まっておりますので, 昼食は各自でご用意ください。

当日の発表スケジュール等の詳細は, 本学のホームページをご覧ください

<http://www.naruto-u.ac.jp/>

◀◀◀会場へのアクセス・お問い合わせ先は裏面をご覧ください▶▶▶



＜鳴門教育大学へのアクセス＞



◆JR「鳴門」駅 → 大学

徳島バス「鳴門教育大学」行き 「鳴門教育大学前」下車
またはタクシー(約 15 分)

◆高速バス停「高速鳴門」→ 大学

高速バス停から坂を下りて、徒歩5分のバス停「小鳴門橋」から
徳島バス「鳴門教育大学」行き 「鳴門教育大学前」下車
またはタクシー(約 10 分)

★アクセスルート(航空機利用・高速バス利用・JR利用・県内からのアクセス等)や徳島バス・JR等の時刻表等の詳細は、本学HP(<http://www.naruto-u.ac.jp/>)の上部の「交通・キャンパスマップ」をクリックしてご確認ください。

＜問い合わせ・申し込み先＞

鳴門教育大学 教職大学院 コラボレーションオフィス(教務企画課 教職・長期履修支援係)

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

TEL 088-687-6598・6678

FAX 088-687-6694

E-Mail collabo@naruto-u.ac.jp

■ 個人発表スケジュール



*教職大学院 2 コースの 2 年次院生がプレゼンテーション（発表）を行います。

*発表時間は一人につき、発表 15 分・質疑 10 分・審査 5 分です。

- *会場→ **A** 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 2 講義室》
B 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 3 講義室》
C 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 5 講義室》
D 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 6 講義室》

*発表者 **黄枠**：教職実践力高度化コース院生（現職教員院生）
青枠：教員養成特別コース院生（学部卒院生）

時間	会場	【午前の部】	校種	
09:00 }	A	生徒の課題解決に基づく教育改善プログラムの開発的研究	高等学校	
	B	小学校における読書活動の推進 -絵本との出会いの場を通して-	小学校	
	09:30	C	授業実践力の向上を目指す学習過程の実践的研究 -小学校教科学習を中心に活動とまとめ方の工夫を通して-	小学校
		D	子どもが主体的に学ぶことができる授業の設計を目指して -動機づけに焦点を当てて-	小学校
09:30 }	A	第 1 学年算数科における児童の学びやすさを考えた授業のあり方 -ユニバーサルデザインの視点を活かして-	小学校	
	B	中学校における課題を抱える生徒への援助を目指す教育相談の在り方	中学校	
	10:00	C	考えを伝える力の育成をめざして -児童の実態に応じた授業の工夫-	小学校
		D	生徒が主体的に課題解決に取り組む授業づくり	中学校
10:00 }	A	児童のエンゲージメントを高める図画工作科の取り組み	小学校	
	B	教員のキャリア形成に視座した教員研修のあり方	教育センター	
	10:30	C	根拠を明確にして自分の考えを説明できるようにする授業づくりについて -グループワークを活用して-	中学校
		D	子どもが意欲的に学べる発問や発問を支える教材のあり方 -子どもが自分もやれると手応えを感じられるように-	小学校
10:30 }	A	高等学校での全校一斉生徒授業に向けた教材開発とその意義の分析と考察	高等学校	
	B	児童の文章表現力を高める学習活動の開発 -意見文の型指導とルーブリック評価を活用して-	小学校	
	11:00	C	内発的動機付けに基づく学校組織の改善	中学校
		D	個に焦点をあてた授業づくりをめざして -観察記録を通じた児童理解をもとに-	小学校
11:00 }	A	ユニバーサルデザインの視点から考える児童が落ち着いて学べる校内環境づくり	小学校	
	B	自らの考えや思いを表現できる児童を育成する授業ユニットの開発 -対人的自己効力感を指標として-	小学校	
	11:30	C	児童の話し合いを支える言語コミュニケーション文化の形成	小学校
		D	生徒の理解を深める数学の授業づくり -教科書を基盤にした授業実践をとおして-	中学校
11:30 }	A	中学校におけるよりよい人間関係づくりのためのプログラムの開発と実践	中学校	
	B	国立大学附属特別支援学校における教職員の協働意識の高まりを目指す実践とその考察	支援学校	
	12:00	C	中学校英語における入門期カリキュラムの研究 ~小中のスムーズな接続を目指して~	中学校
		D	めあてからまとめまで一貫性がある授業づくり -児童の思考の一貫性を目指して-	小学校
12:00 }	A	小学校における互いの思いを認め合い対話を生み出す学習の試み	小学校	
	B	学びあい学び続ける教師集団文化の構築 -教科部会の活性化を通して-	中学校	
	12:30	C	教育課題の共有から生徒の変容と教職員の協働を促進する学校改善	中学校
		D	指導と評価の一体化を目指した授業づくり	小学校

時間	会場	【午後の部】	校種	
13:45 }	A	真に「学ぶ」授業の在り方とは -国語科を中心とした授業改善の可能性を探る-	小学校	
	B	子どもが抱える教育課題解決に向けた主体的・協働的な学校組織の開発的研究	小学校	
	14:15	C	小学生の共同体感覚を育む学級づくりの取り組み	小学校
	D	対話が生まれる授業 -「思い込みによる発問」をなくす手立てを通して-	小学校	
14:15 }	A	高等学校における自立した学び手を育成するための実践的アプローチ -学校組織の「ひと」をつなぎ、当事者意識の醸成を図る-	高等学校	
	B	生徒の「やる気」を伸ばすスケッチ指導の実践 -仲間づくりや各教科との関連をめざして-	中学校	
	14:45	C	小学校算数科の情報を整理する学習活動の体系化と授業設計	小学校
	D	児童主体の授業にするための発問と教師の応答	小学校	
14:45 }	A	しなやかに生きる社会人の育成を目指したキャリア教育の在り方について -学びと自分をつなぐ「進路ノート」を中心とした取組-	高等学校	
	15:15	B	主体的に身に付けた力を活用できる児童の育成	小学校
	C	探究のプロセスの充実を軸とした総合的な学習の時間における授業改善	小学校	
15:15 }	A	信頼関係を築き、主体性を発揮できる児童の育成 -集団と個の相互作用を活かして-	小学校	
	B	「地方創生」の実現を目指す総合的な学習の時間を要としたモデルカリキュラムの開発及び実証	小学校	
	15:45	C	高等学校理科における思考力・判断力・表現力を高める授業実践	高等学校